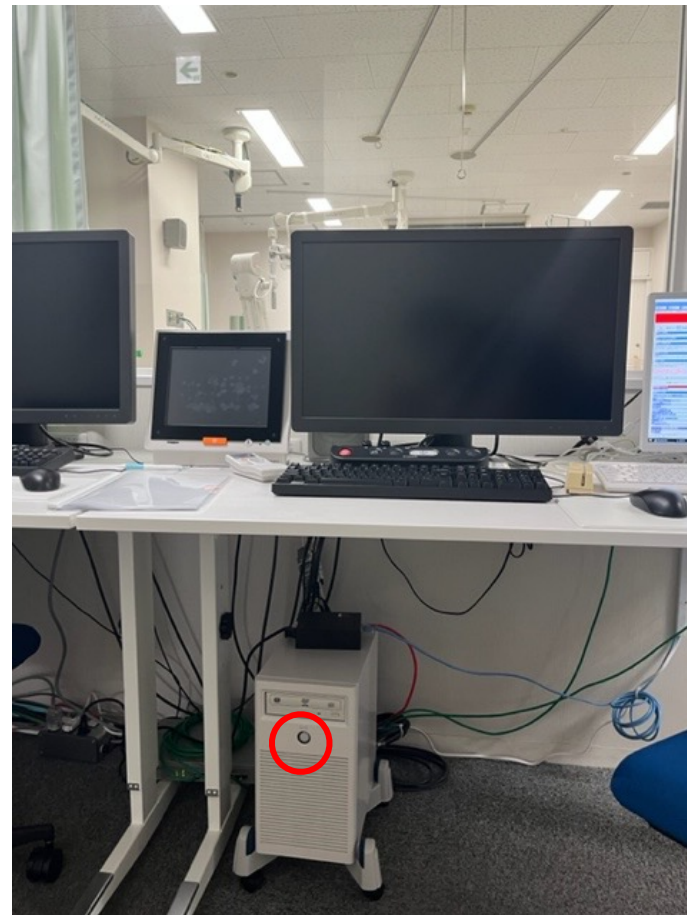
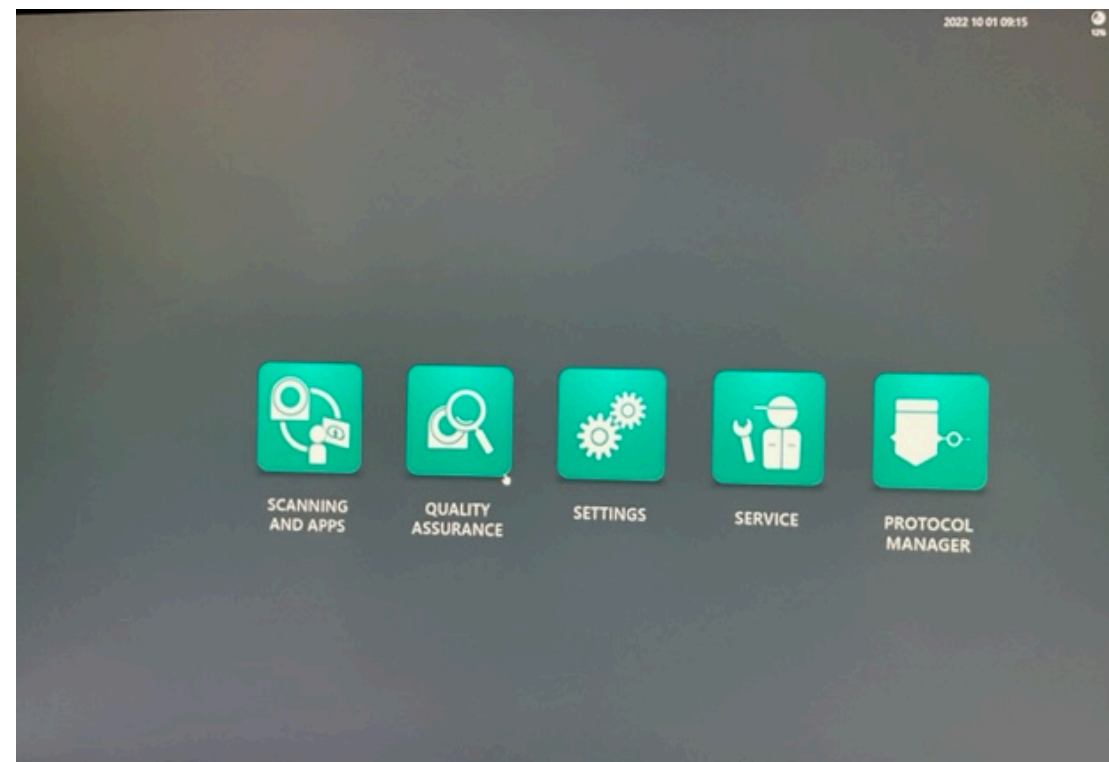


始業点検

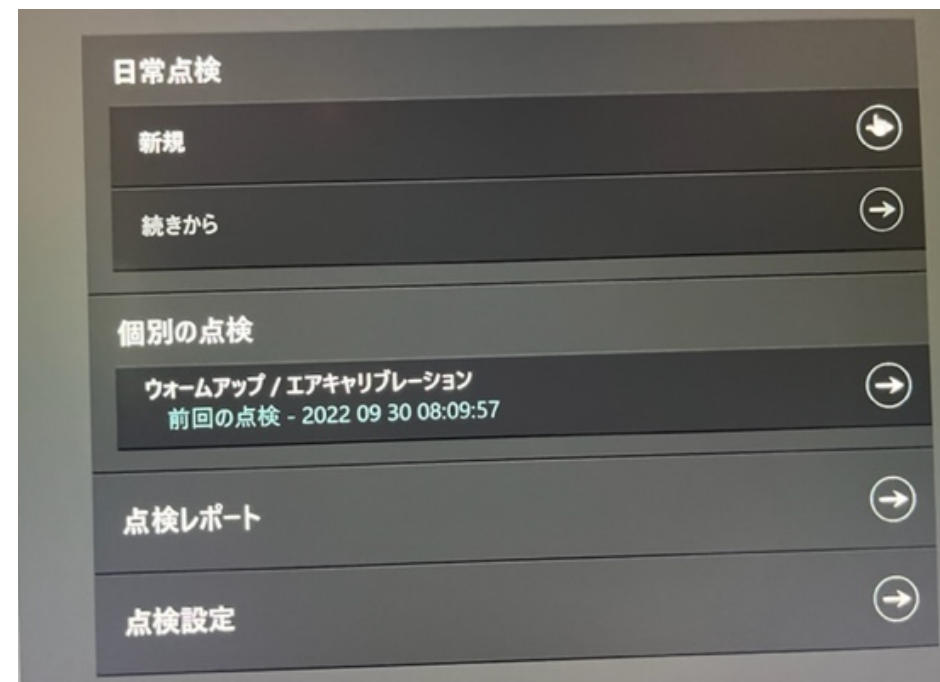
- 電源を入れる



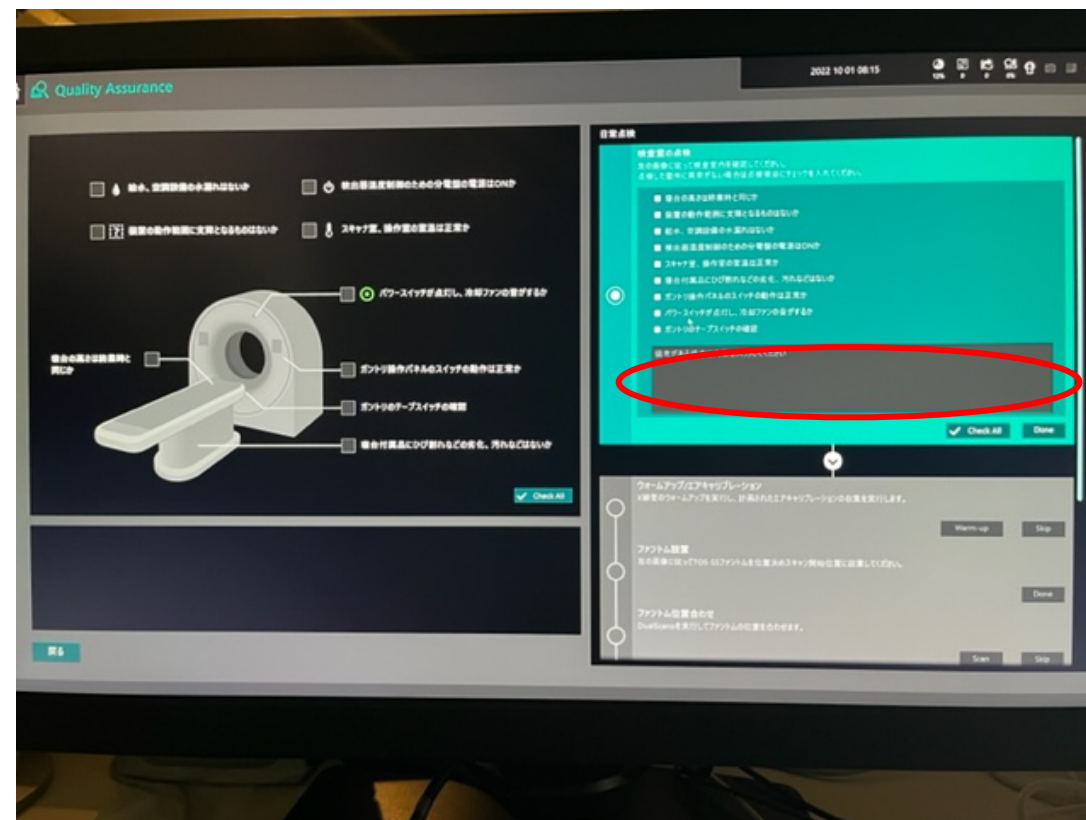
- 起動後、『QUALITY ASSURANCE』をクリック。



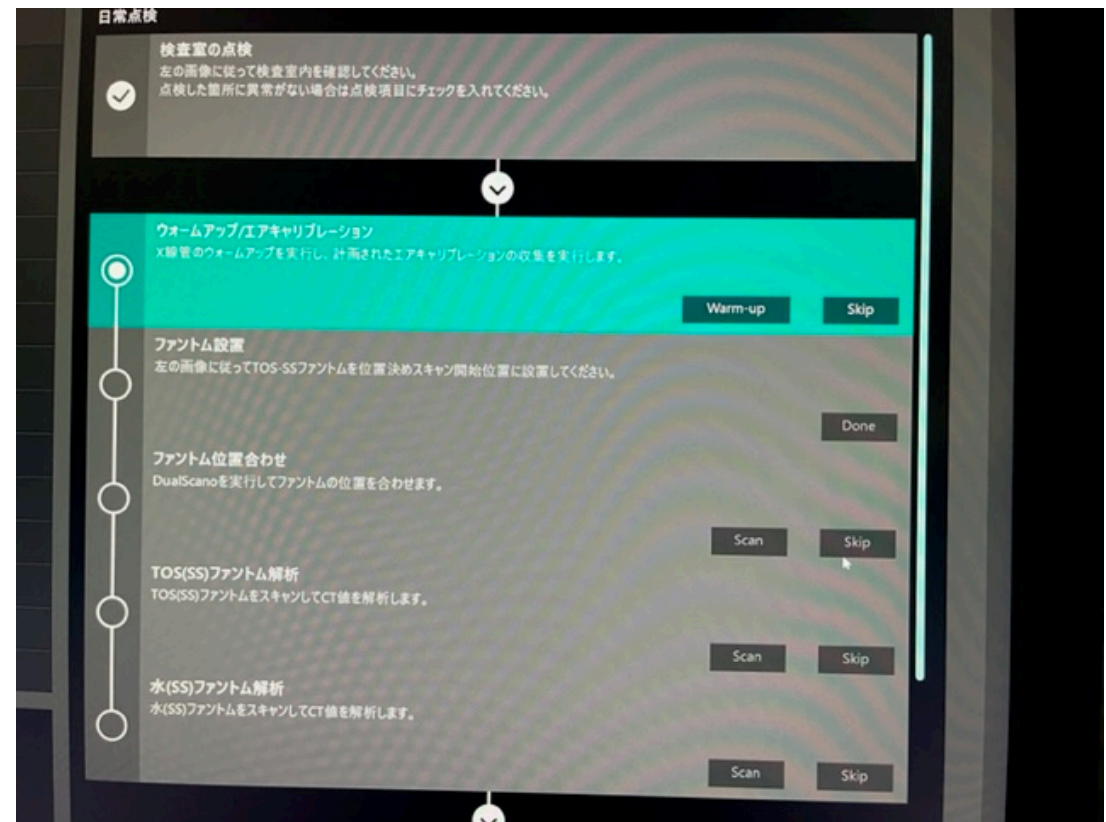
- 日常点検の『新規』をクリック。



- 検査室内の点検を行う。
- 9 項目のcheckが出来たら『Done』をクリック。
- 備考がある場合は○内に記載。



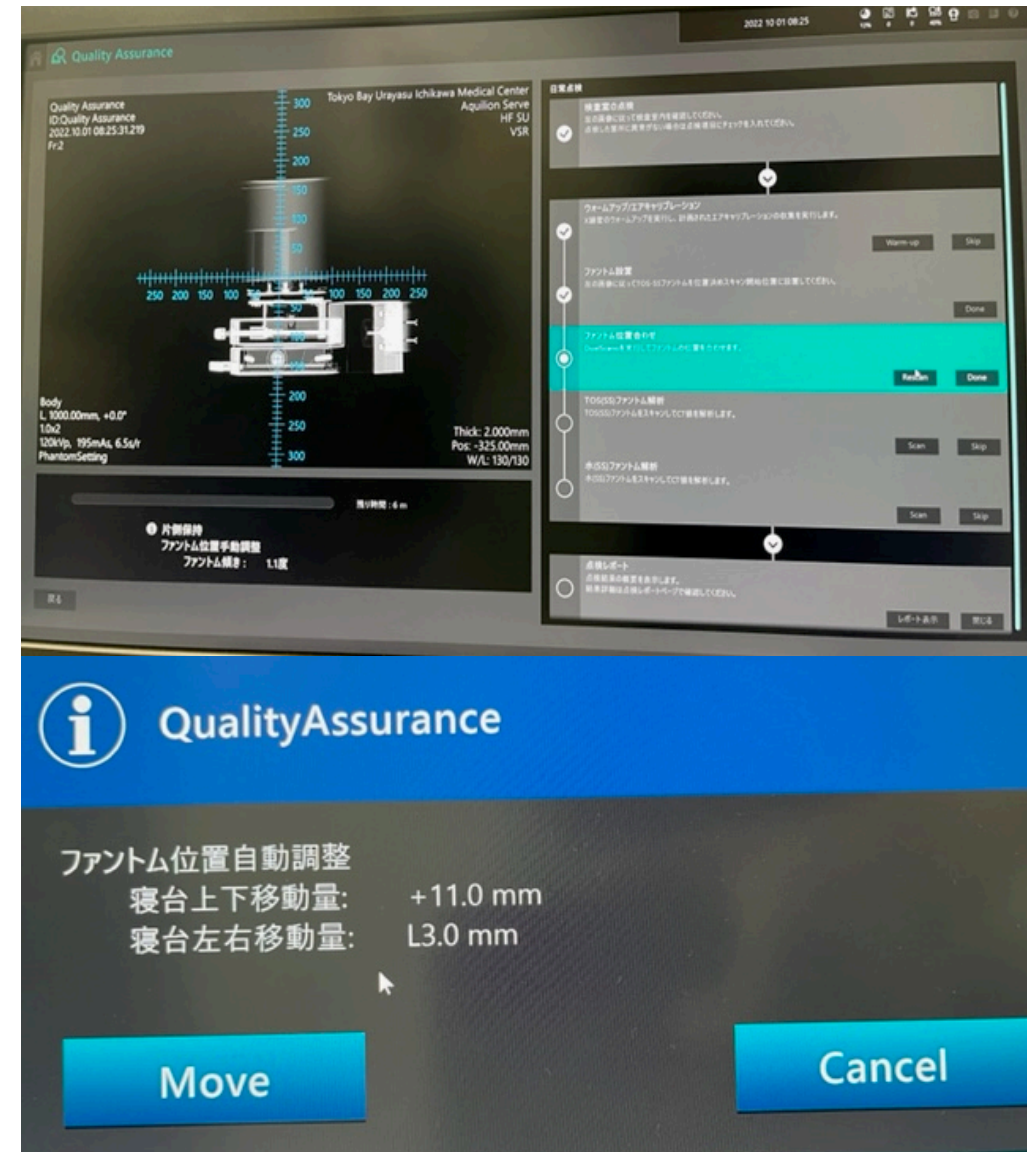
- ウォームアップ/エアキャリブレーションを行う。
- 施行済みの場合はスキップ。



- TOS-SSファントムをscano開始位置に設置する。
- 右図の位置で合わせていただければ問題ありません。寝台の高さも、ある程度合わせれば後で修正します。

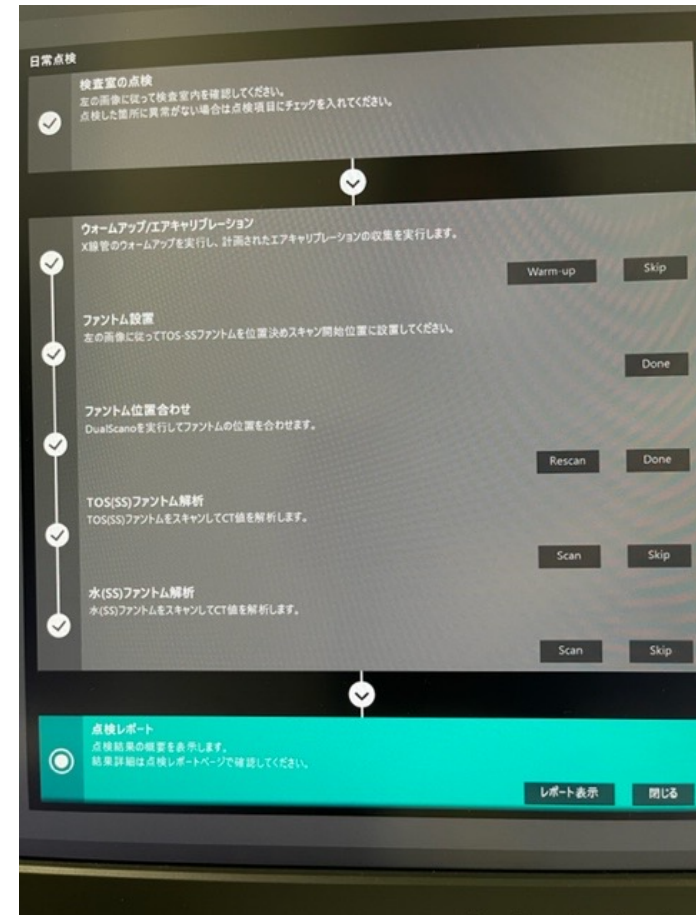


- Dualscano撮影後『Done』をクリック。ファントム撮影。
- 位置がずれている場合「ファントム位置自動調整」が作動し『Move』をクリック。寝台移動ボタンが点灯するので止まるまで押す。
- その後ファントム撮影。



- ファントム撮影後、ROI計測が自動で行われる。
- 点検レポートを表示して確認。

始業点検終了。



追記

追記

- 装置再起動時『QUALITY ASSURANCE』の「個別の点検」でないとエアキャリブレーションが施行できませんので、こちらからお願いします。
- 2週間に1度程度『special Warm-up』が表示されます。管球保護のため、表示された際は必ず施行してください。

